

# 大和田・稲荷木・田尻地区の2月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。  
 そのうち、2月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路㈱  
 千葉工事事務所 技術課  
 TEL:043-350-3342

## 1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者	調査地点
A 東京外環自動車道 大和田工事	清水建設㈱ 前田建設工業㈱ 東洋建設㈱ 共同企業体	⑧-1 ⑧-2
C 東京外環自動車道 田尻工事	大成建設㈱ 戸田建設㈱ 大豊建設㈱ 共同企業体	⑨-1 ⑨-2
F 東京外環自動車道 稲荷木橋(鋼上部工)南工事	㈱駒井ハルテック	⑥-1
I 東京外環自動車道 大和田地区 横歩道橋(鋼上部工)工事	宇部興産機械㈱	④-1 ④-2 ④-3

**凡例**

- : 騒音・振動調査地点
- ▲ : 地下水質調査地点(水位:5地点、水質:8地点)
- : 騒音・振動調査対象作業位置

## 2.騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。  
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	大和田工事 大和田地区横歩道橋(鋼上部工)工事 田尻工事	58	35	2月21日 昼間(8時~17時)
2	田尻工事 稲荷木橋(鋼上部工)南工事	68	39	2月22日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

**解説**

- 騒音レベル $L_{A5}$   
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル $L_{10}$   
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

## 3.地下水質調査結果(採水日:2月15日、16日)

地下水質調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.4	7.5	8.0	8.0	7.6	7.3			
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満			
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	-	6.8	6.2	7.1	7.5			
六価クロム(mg/l)	0.005未満	-	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満			
調査地点	⑦			⑧					
	⑦-1	⑦-2	⑦-3	⑧-1	⑧-2	⑧-3			
pH	7.8	-	-	-	-	-			
六価クロム(mg/l)	0.005未満	-	-	-	-	-			

※調査地点⑤-1、⑧-1、⑧-2は工事に伴い観測井戸を閉塞したため、調査を行っていません。

**解説**

- pH(水素イオン濃度)  
 地盤改良等に使用するセメント系固結剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
- 六価クロム  
 地盤改良等に使用するセメント系固結剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

## 4.地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。  
 ○地下水水位の回復傾向が確認されました。  
 引き続き注視していきます。

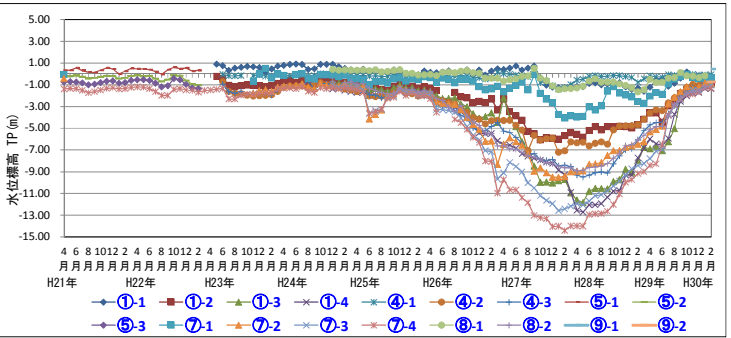
単位: T.P.m

調査地点	①				②			③			④		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	②-3	③-1	③-2	③-3	④-1	④-2	④-3
H29 12月	-0.62	-1.20	-1.38	-1.70	0.09	-1.05	-1.35	-	-	-	-0.44	-1.24	-
H30 1月	-0.46	-0.92	-0.98	-1.34	-0.09	-0.64	-0.87	-	-	-	-0.43	-0.86	-
2月	-0.26	-0.81	-0.95	-1.35	-0.05	-0.40	-0.70	-	-	-	-0.35	-0.92	-
調査地点	⑤			⑥			⑦						
	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑦-1	⑦-2	⑦-3				
H29 12月	-1.50	-1.66	-0.34	-1.60	-	-	-	-	-				
H30 1月	-1.26	-1.29	-0.17	-1.18	-	-	-	-	-				
2月	-1.04	-1.31	-	-0.45	-0.74	-	-	-	-				

※調査地点⑤-1、⑤-2、⑤-3、⑧-1、⑧-2は工事に伴い観測井戸を閉塞したため、⑨-1、⑨-2にて調査を開始しました。

**解説**

- T.P.m  
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



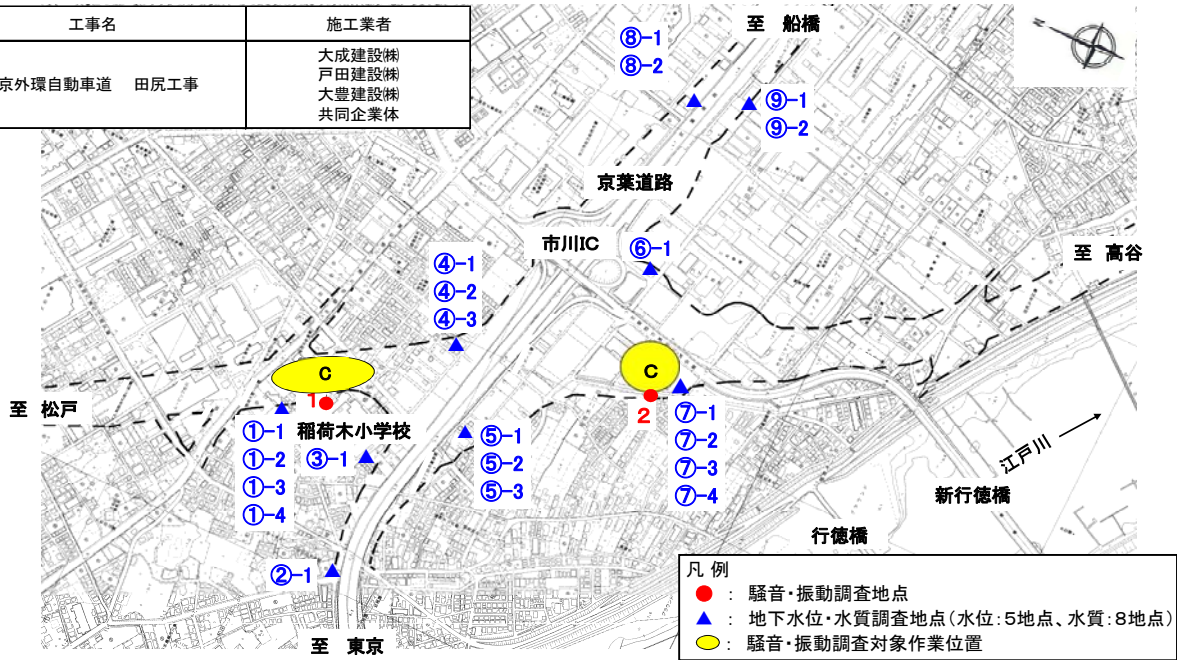
# 大和田・稲荷木・田尻地区の3月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等  
 についての調査を毎月実施しております。  
 そのうち、3月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路㈱  
 千葉工事事務所 技術課  
 TEL:043-350-3342

## 1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
C 東京外環自動車道 田尻工事	大成建設㈱ 戸田建設㈱ 大豊建設㈱ 共同企業体



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
  - ▲ : 地下水・水質調査地点(水位:5地点、水質:8地点)
  - : 騒音・振動調査対象作業位置

## 2.騒音・振動調査結果

騒音レベル $L_{A5}$ および振動レベル $L_{10}$ を下の表に示します。  
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル $L_{A5}$ (dB)	振動レベル $L_{10}$ (dB)	調査日
1	田尻工事	53	37	3月26日 昼間(8時~17時)
2		68	47	3月14日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベル $L_{A5}$   
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を $L_{A5}$ と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル $L_{10}$   
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を $L_{10}$ とします。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

## 3.地下水水質調査結果(採水日:3月13日、14日、15日)

地下水水質調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②		③	
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	③-1		
pH	7.9	8.3	8.3	8.3	8.3	7.1		
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		
調査地点	④			⑤			⑥	
	④-1	⑤-1	⑥-1	⑦-1	⑦-2	⑦-3		
pH	7.5	-	6.8	5.9	7.3	7.8		
六価クロム(mg/l)	0.005未満	-	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		
調査地点	⑦		⑧					
	⑦-4	⑧-1	⑧-2					
pH	8.0	-	-					
六価クロム(mg/l)	0.005未満	-	-					

※調査地点⑤-1、⑧-1、⑧-2は工事に伴い観測井戸を閉塞したため、調査を行っていません。

解説

- pH(水素イオン濃度)  
 地盤改良等に使用するセメント系固結剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
- 六価クロム  
 地盤改良等に使用するセメント系固結剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

## 4.地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。  
 ○地下水水位の回復傾向が確認されました。  
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①				②				③				④			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	②-3	②-4	③-1	③-2	③-3	③-4	④-1	④-2	④-3	④-4
H30	1月	-0.46	-0.92	-0.98	-1.34	0.09	-0.64	-0.87	-	-	-	-	-0.43	-0.86	-	-
	2月	-0.26	-0.81	-0.95	-1.35	-0.05	-0.40	-0.70	-	-	-	-	-0.35	-0.92	-	-
	3月	0.10	-0.39	-0.64	-1.10	0.00	-0.12	-0.45	-	-	-	-	-0.06	-0.43	-	-
調査地点	⑦		⑧		⑨											
	⑦-3	⑦-4	⑧-1	⑧-2	⑨-1	⑨-2										
H30	1月	-1.26	-1.29	-0.17	-1.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2月	-1.04	-1.31	-	-	0.45	-0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3月	-0.87	-1.02	-	-	0.59	-0.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※調査地点⑤-1、⑤-2、⑤-3、⑧-1、⑧-2は工事に伴い観測井戸を閉塞しました。  
 新たに⑨-1、⑨-2にて調査を開始しました。

解説

- T.P.m  
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

